

年末巡回指導パトロールを実施

昨年12月24日(金)に、健全育成推進協議会の会員で第二地区の巡回指導パトロールを行いました。

3コース(若葉駅方面、共栄方面、第二小方面)に分かれ、危険箇所の有無を確認しながら実際に歩いてみると、道路の白線及び横断歩道が薄くなっている場所や、道幅が狭く自転車、車に注意が必要な道があるといった問題点が見つかりました。



子供たちが安心、安全に登下校できるよう日頃からの安全確認、大人の見守りを続けて行くことが大切だと感じました。ご協力をお願いします。



第二健全会員の皆様、一年間の活動お疲れ様でした。今年度は、ご案内の通り昨年度に続きコロナ禍によって多くの活動が休止となってしまいました。残念なことではありますが、このコロナ禍が一日も早く収束することを祈っております。

PTA活動や自治会活動、市の行事等も大きく制限されている中ではできるだけは限られておりますが、リモートの活用など少しずつではあります活動にも変化がみられるようになってまいりました。

地域の子どものために以前のような活動が出来る日が戻ることを期待し御礼の挨拶に代えさせていただきます。

鶴ヶ島市第一地区
青少年健全育成協議会

会長代行 高橋剣二



ウィズコロナ社会における青少年健全育成

鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会
相談役 鶴ヶ島市立藤小学校校長 久保吉則

今年度も昨年度と同様にコロナ禍にあり、2学期始まりは分散登校、3学期のオミクロン株にあっては感染力が強く多くの小学校で学級閉鎖等の措置を取らざるを得ない状況となりました。そんな状況でしたが、2学期までは感染対策や活動の工夫などウィズコロナの体制をとりつつ教育活動を進め、昨年度実施できなかった学校行事や体験学習等、少しずつですが行うことができました。それぞれの教育活動を通じて子供たちの成長を見るとき、改めて体験活動や人との関わりの大切さ・必要性を強く感じています。

また、コロナ禍により一気に進んだ一人一台のタブレット導入やWi-Fi環境の整備により、離れていても意見交流や共同制作ができたり、子供たちが自ら学級活動等にアンケート調査や係活動の連絡などにもタブレットを活用したりして、学習の在り方は大きく変わってきています。コロナ不安等で欠席した児童もオンラインで授業を受け、授業参観や懇談会、教育

相談もリモートで実施するなど、家庭との連携の仕方も変わりつつあります。便利になると同時に新たなトラブルや課題が生じてきています。タ

ブレットの利活用については、今まで以上に情報モラル教育をしっかりと行っていくことが重要です。

引き続き、家庭と地域と学校が連携し、ウィズコロナ社会における青少年の健全育成に関する活動や見守り活動を工夫し、子供たちの心を豊かに育む社会体験の実施に努めていくことや、私たち大人が情報化社会におけるトラブル、事件等からや子供たちを守ることが大切と考えます。



令和4年鶴ヶ島市成人式



本協議会会員が地域の方々とともに、受付や場内誘導などに協力し、成人を迎えた皆さんを祝福しました。ある意味成人式は、青少年健全育成の卒業式でもありますね。

1月9日、第二小学校体育館にて藤中学校区の鶴ヶ島市成人式が行われ、155人が参加しました。コロナ禍の成人式ですが、清々しい天気の中、久々に会う友人たちとマスク越しに笑顔があふれているのが印象的でした。

式典では藤中学校卒業生の山田大成さんが、とても立派な成人の誓いをしてくれました。



編集後記

広報「つばさ64号」の発行に当たり、多くの皆様のご協力いただきありがとうございました。コロナ禍における活動は、大変難しいものがあり、多くの事業が中止となる中、今年度もコロナの感染状況を見ながらの活動となりました。一日も早くコロナ禍が収束し、安心して活動できることを心から祈るばかりです。今後とも青少年健全育成の活動にご支援・ご協力をお願いします。 広報部一同